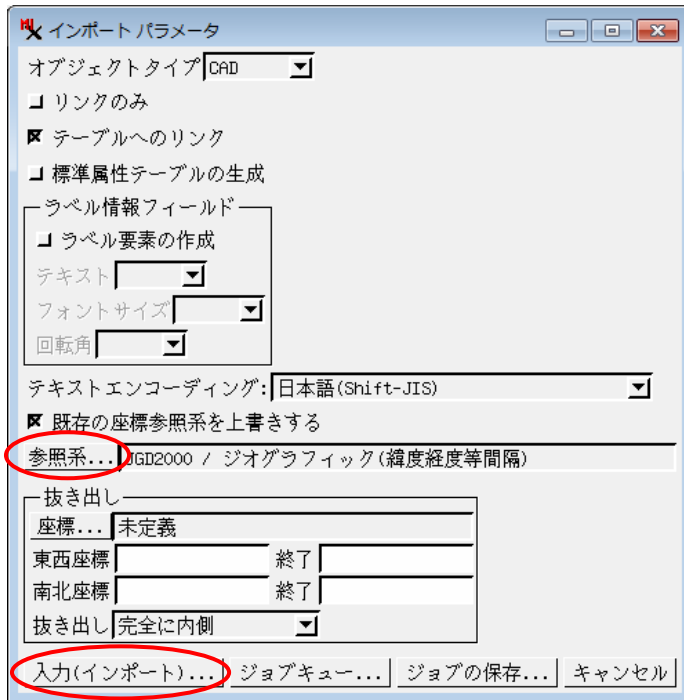
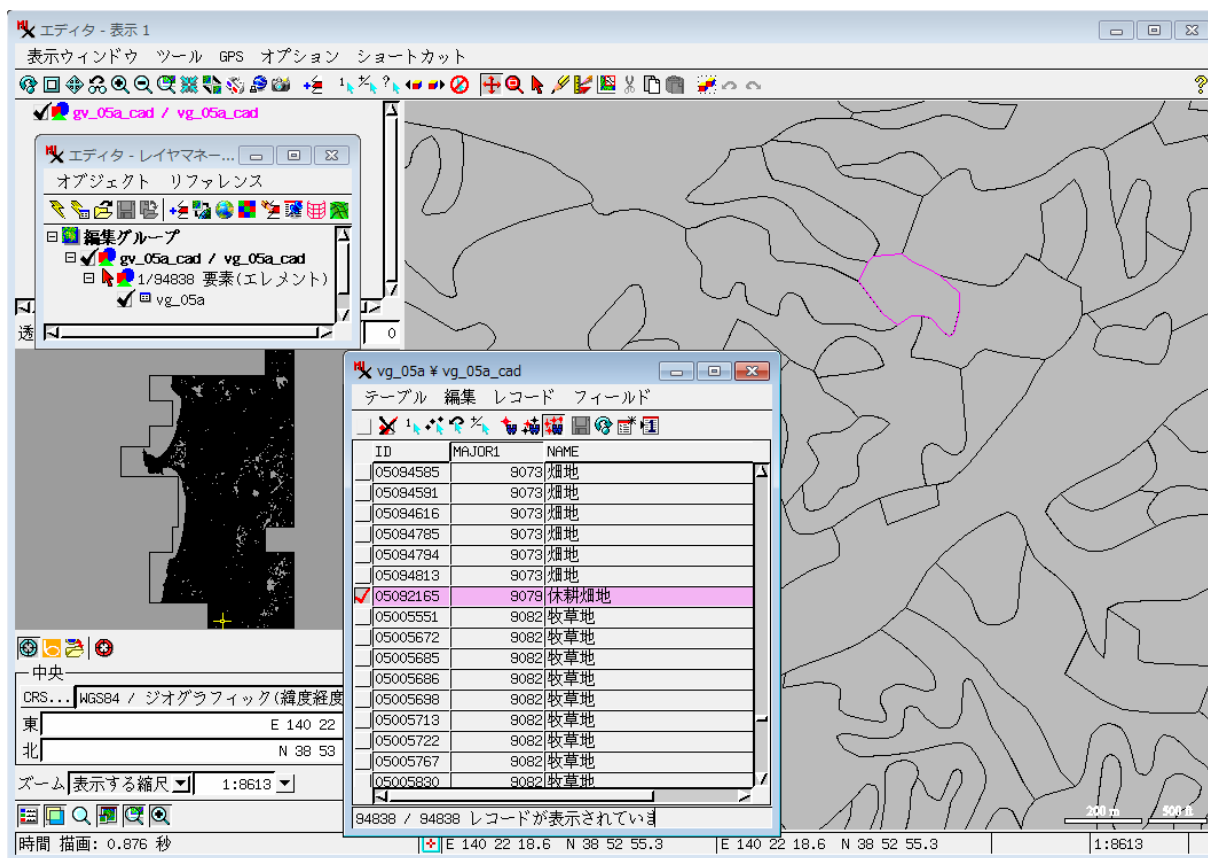


参照系を設定する > JGD2000/ジオグラフィック > 入力 (インポート) を実行



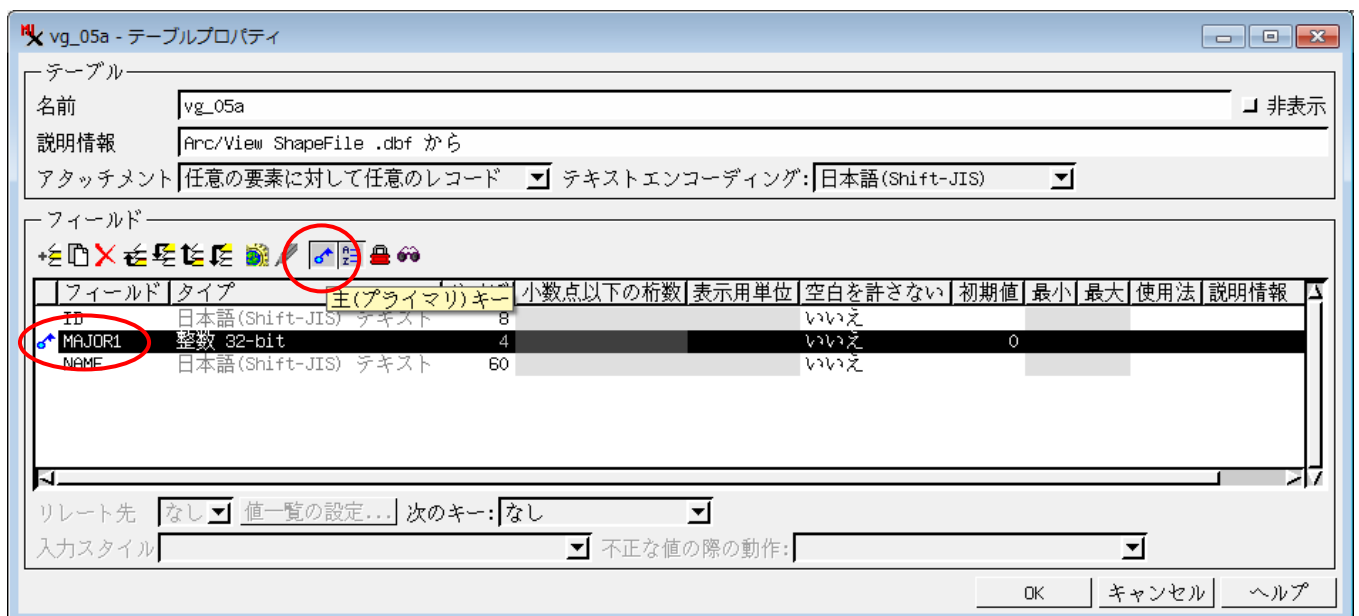
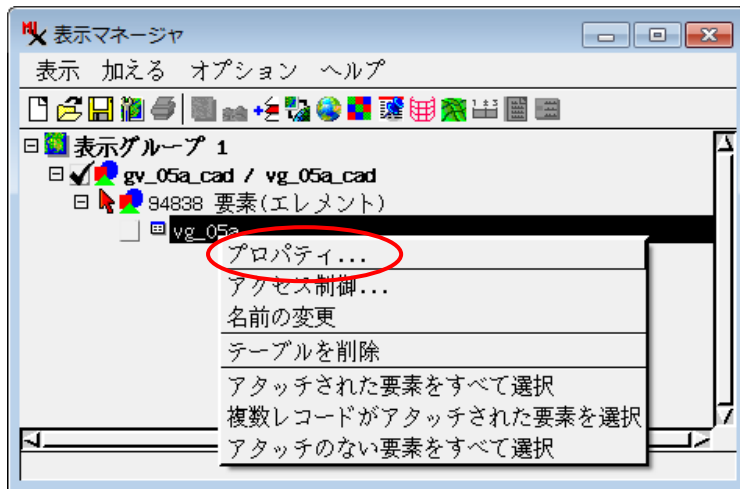
インポートした CAD データを メイン>表示 から開いて確認します。

テーブルを開いて、該当するポリゴンを確認 > このデータには2つしかないようです。



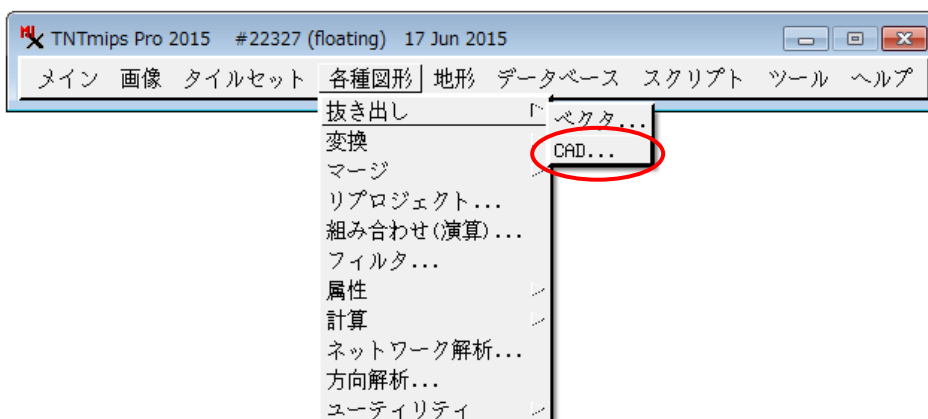
テーブルの設定を行います。

表示マネージャから右クリックしてテーブルのプロパティを開き、注目するフィールドを主（プライマリ）キーに設定しておきます。（ここでは MAJOR1 フィールド）




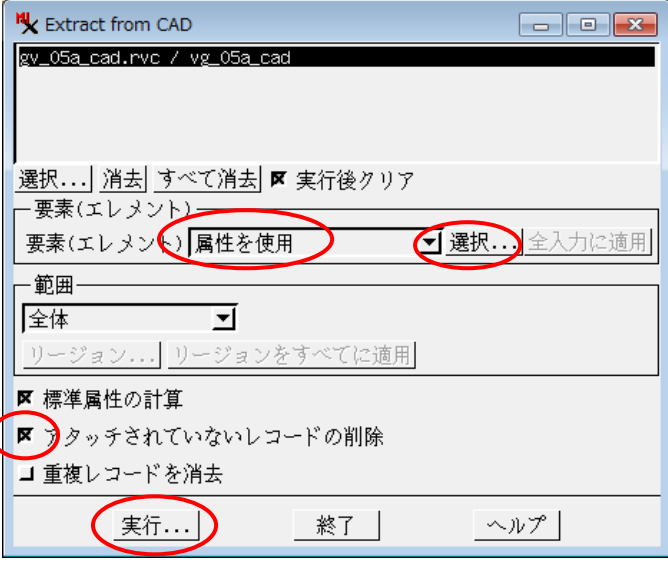
このCADオブジェクトはいったんクローズして、該当するポリゴンを抜き出す処理に行きます。

TNTmips メインメニューから、各種図形>抜き出し>CAD



各種図形>抜き出し>CAD の画面で、

要素 > 属性を使用 > 選択 > フィールドの値を選択 > 受け付ける > 実行

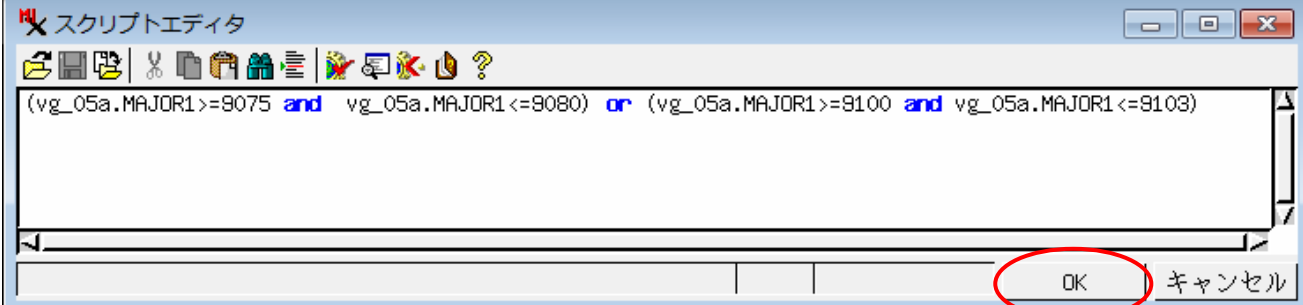
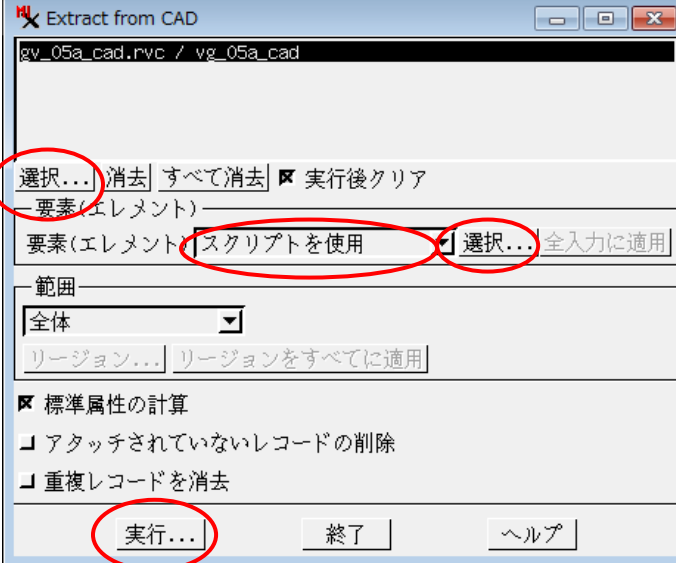


シフトキー+クリックで連続範囲の選択ができます

フィールドの選択範囲が多い場合はスクリプトを使う方法が便利です。

インポートしたCADデータを選択、

要素 > スクリプトを使用 > 選択

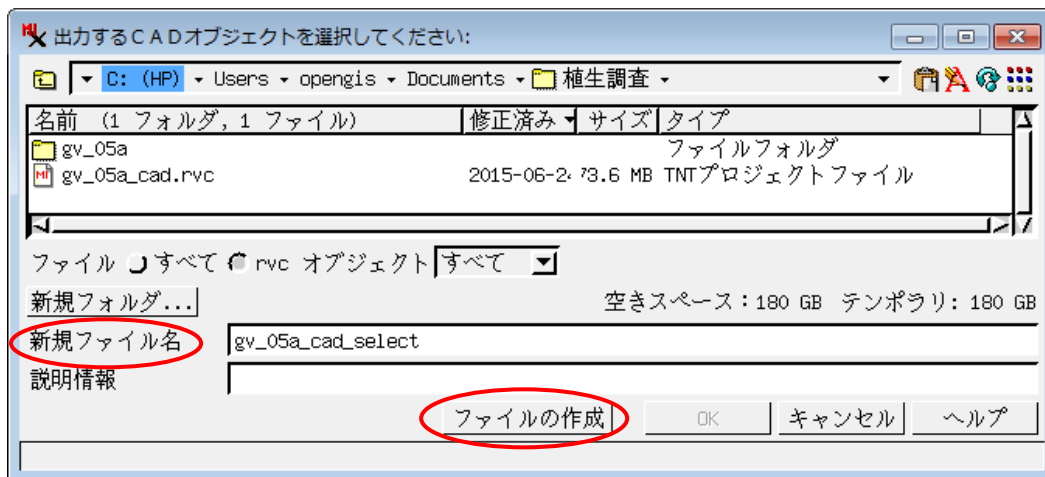


スクリプトエディタに以下のテキストを書きます。

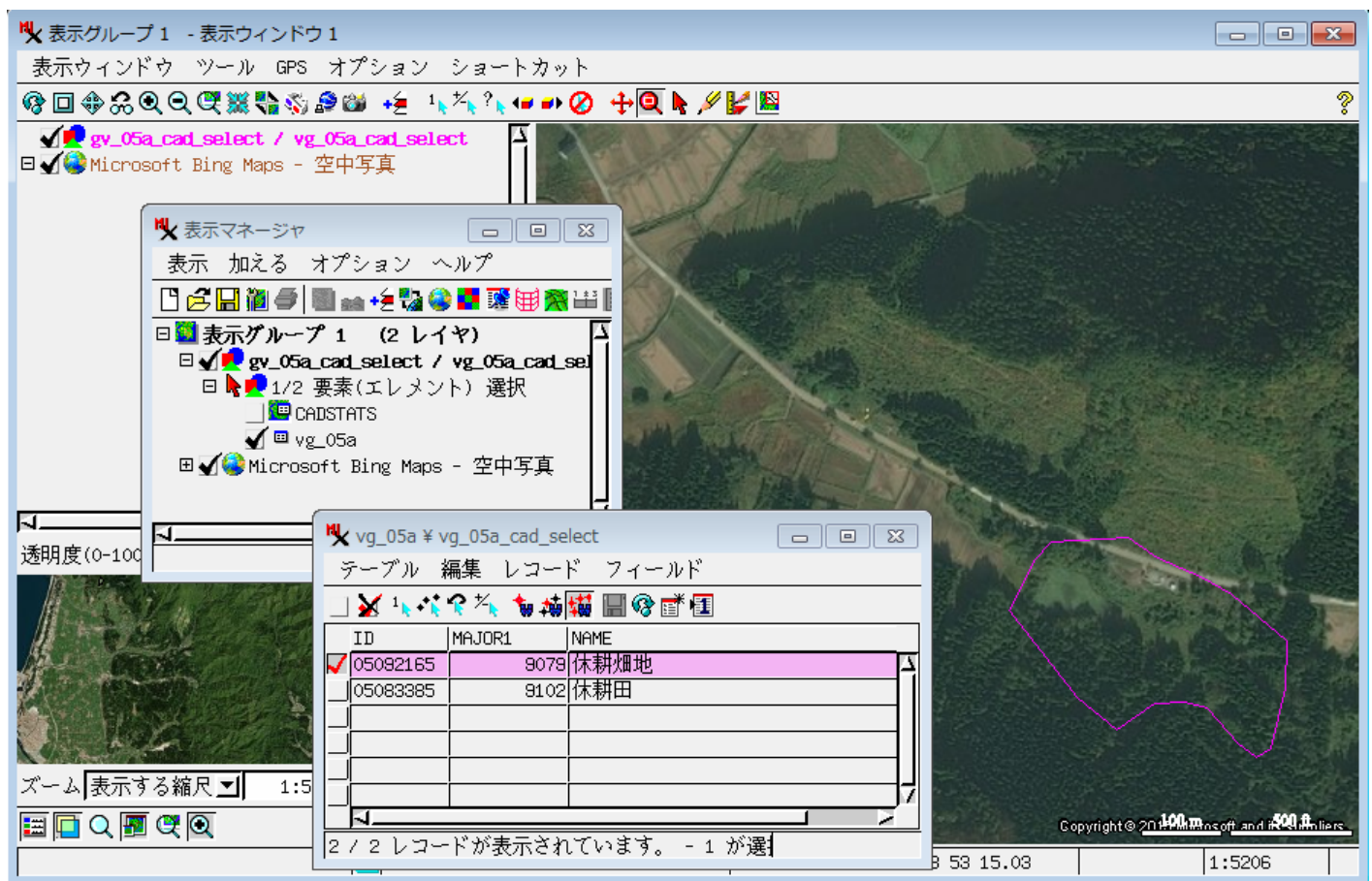
(vg_05a.MAJOR1>=9075 and vg_05a.MAJOR1<=9080) or (vg_05a.MAJOR1>=9100 and vg_05a.MAJOR1<=9103)

OK > 実行

出力ファイル名を入力>ファイルの作成>OK>終了

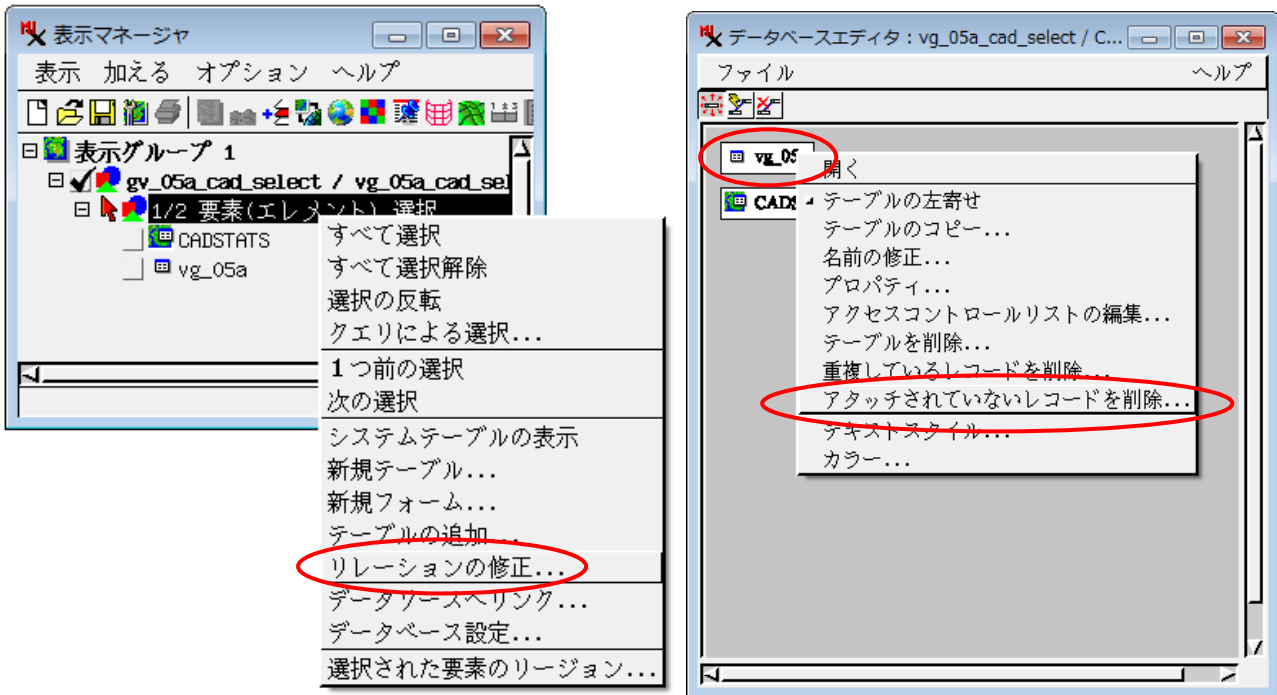


メイン>表示 で出力ファイルを表示してみます。(Bing Maps の空中写真に重ねて表示しています。)



ここで上のような残っているポリゴンだけのテーブルにしたい場合は、次の手順で。

表示マネージャ - 右クリックメニューで「リレーションの修正」を開き、
テーブル名を右クリックして、「アタッチされていないレコードを削除」



もしくは、抜き出し処理のときに、アタッチされていないレコードを削除 にチェックを入れておきます。

Bing Maps の空中写真等を重ねて表示するときは下のメニューです。

